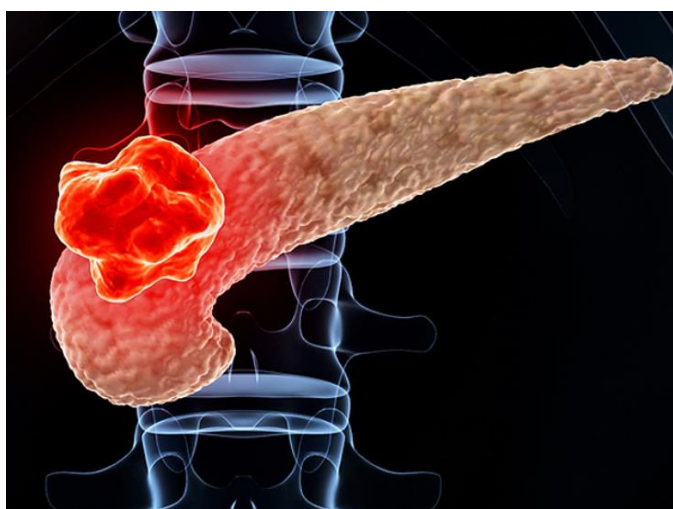


術前の化学放射線療法による膵癌の生存期間延長

切除可能もしくは境界線上の膵臓癌は、すぐに手術するよりも、術前に**化学放射線療法**を行ってから手術をする方が、無再発生存期間（DFS）が長くなるという結果が、オランダで行われた無作為化多施設フェーズ3試験（**PREOPANC-1**）により示され、米国臨床腫瘍学会（ASCO2018）で発表されました。



全生存期間（OS）中央値は、術前療法なしが13.7カ月、術前療法ありが17.1カ月、ハザード比0.74、 $p=0.074$ でありました。



無再発生存期間（DFS）中央値は、術前療法なしが7.9カ月、術前療法ありが9.9カ月、ハザード比0.71、 $p=0.023$ で有意に術前療法ありのほうが長い結果となりました。